

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2011年3月24日(24.03.2011)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2011/033735 A1

- (51) 国際特許分類:
G06Q 50/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2010/005439
- (22) 国際出願日: 2010年9月3日(03.09.2010)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2009-218146 2009年9月18日(18.09.2009) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): テルモ株式会社 (TERUMO KABUSHIKI KAISHA) [JP/JP]; 〒1510072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 浅間 弘一郎 (ASAMA, Koichiro) [JP/JP]; 〒2590151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1500番地テルモ株式会社内 Kanagawa (JP).
- (74) 代理人: 岡▲崎▼ 信太郎, 外 (OKAZAKI, Shintarou et al.); 〒1000006 東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビルディング北館8階810区 Tokyo (JP).

- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

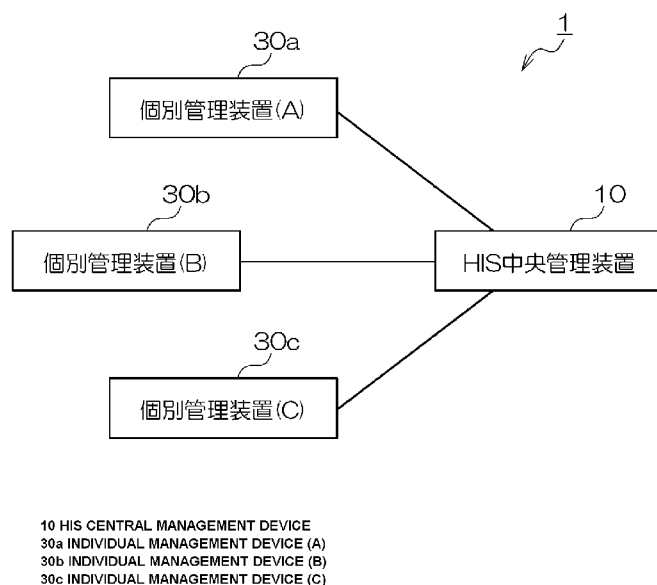
添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第21条(3))

(54) Title: MEDICAL INFORMATION MANAGEMENT SYSTEM

(54) 発明の名称: 医療情報管理システム

[図1]



replacement unit is prohibited.

(57) 要約:

(57) **Abstract:** Provided is a medical information management system wherein integration of information between a terminal-side management device which is a management computer, etc., of each department, etc., and a total management device which integrates the departments, etc. can be smoothly and rapidly performed. A medical information management system (1) comprises a central management device (10) which retains a plurality of kinds of center-side medical information, and a terminal-side management device (30a) which is capable of communicating with the central management device and independently retains a plurality of kinds of terminal-side medical information (41a) separately from the central management device, wherein the terminal management device comprises an acquisition information selection unit (51) for selecting the center-side medical information acquired from the central management device, a medical information replacement unit (54) for replacing center-side medical information selected by the acquisition information selection unit with the terminal-side medical information (41a) corresponding to the center-side medical information, and a modification prohibition unit (52) by which a modification process of the center-side medical information which has been replaced by the medical information

[続葉有]

WO 2011/033735 A1



【課題】各部門等における管理用コンピュータ等である端末側管理装置と、これら各部門等を統合した全体の管理装置との間の情報の統合を円滑且つ迅速に行うための医療情報管理システムを提供すること。【解決手段】複数の種類の中央側医療情報を保持する中央管理装置１０と、中央管理装置と通信可能であり、複数の種類の端末側医療情報４１ａを中央管理装置とは別個に独自で保持する端末側管理装置３０ａと、を有し、端末管理装置は、中央管理装置から取得する中央側医療情報を選択するための取得情報選択部５１と、取得情報選択部で選択された中央側医療情報に対応する端末側医療情報４１ａを中央側医療情報と置き換えるための医療情報置換部５４と、医療情報置換部で置き換えられた中央側医療情報の変更処理を禁止する変更禁止部５２と、を有する医療情報管理システム１。

明 細 書

発明の名称： 医療情報管理システム

技術分野

[0001] 本発明は、例えば、病院等の複数の管理装置内の医療情報を管理するための医療情報管理システムに関するものである。

背景技術

[0002] 従来、患者の医療情報を管理装置で管理し、実際の投薬等で過誤が生じないようにする提案がなされている（例えば、特許文献1）。

また、病院等では、例えば、医局やナースステーションに、病棟における患者の各種情報を管理する管理用コンピュータを設け、この管理用コンピュータのデータを参照して、医師や看護師等が患者に処方等を実施している。

一方、病院には、患者の管理用コンピュータとは別に、中央管理装置に相当するコンピュータを配置し、この中央管理装置に院内の各種の管理用コンピュータのデータを集め、管理するシステム（H I S（H o s p i t a l I n f o r m a t i o n S y s t e m、病院コンピュータサービス））を採用しているところもある。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献1：特開2003-30323号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかし、このH I Sを病院で採用し、中央のH I Sのサーバに、患者の管理用コンピュータを接続するには、例えば、同じメーカーのコンピュータ等や、同じシステムを採用するコンピュータを導入等する必要がある。

しかしながら、このH I Sのシステムの全てのコンピュータを、同じメーカーのコンピュータ等で揃える等は、困難であり、実際は、病院等では、メーカーの異なる様々なコンピュータ等が管理用コンピュータとして用いられ

ている。このため、各管理用コンピュータとH I Sのサーバとは、通常は、相互に通信させることが容易ではなく、所定の時期に、それぞれのコンピュータのシステムを調整することで、管理用コンピュータとH I Sのサーバとの通信を行い、相互のデータを送受信している。

この場合、病棟の患者向けに配置されている管理用コンピュータとH I Sのサーバとでは、例えば、同じ患者に関して、異なるデータを有している場合がある。

このとき、H I Sのサーバのデータを優先して、管理用コンピュータのデータをサーバのデータに置き換えると、データの統一性を図ることができ好ましい。

しかし、患者の管理用コンピュータは、医療現場の必要に応じてデータを入力する場合があります、管理用コンピュータのデータを、H I Sのサーバのデータに置き換え、データの統一を図ると、データによっては、現場の医師や看護師等にとって使い難いデータとなるという問題があった。

[0005] そこで、本発明は、病棟患者に対する管理用コンピュータ等である端末側管理装置と、他の管理用コンピュータ等を含む全体の管理装置との間の情報の統合を円滑且つ迅速に行うための医療情報管理システムを提供することを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 前記課題は、本発明によれば、複数の種類の医療情報である中央側医療情報を保持する中央管理装置と、前記中央管理装置と通信可能であると共に、複数の種類の医療情報である端末側医療情報を前記中央管理装置とは別個に独自で保持する端末側管理装置と、を有し、前記端末管理装置は、前記中央管理装置から取得する前記中央側医療情報を選択するための取得情報選択部と、前記取得情報選択部で選択された前記中央側医療情報に対応する前記端末側医療情報を前記中央側医療情報と置き換えるための医療情報置換部と、前記医療情報置換部で置き換えられた前記中央側医療情報の変更処理を禁止する変更禁止部と、を有することを特徴とする医療情報管理システムにより

達成される。

[0007] 前記構成によれば、複数の種類の医療情報である中央側医療情報を保持する中央管理装置と、中央管理装置と通信可能であると共に、複数の種類の医療情報である端末側医療情報を中央管理装置とは別個に独自で保持する端末側管理装置と、を有し、端末側管理装置は、中央管理装置から取得する中央側医療情報を選択するための取得情報選択部と、取得情報選択部で選択された中央側医療情報に対応する端末側医療情報を中央側医療情報と置き換えるための医療情報置換部と、を有している。

このため、例えば、端末側管理装置で保持する端末側医療情報を中央管理装置の中央側医療情報で置き換えようとするとき、端末側管理装置は、取得情報選択部によって置き換える中央側医療情報を選択できる。このため、中央側医療情報と置き換える必要のない、端末側医療情報の置換えを回避できると共に、必要な中央側医療情報のみを取得し、置き換えることができる。

したがって、端末側管理装置の全ての端末側医療情報を一括して置き換えることによる弊害の発生を防止することができる。

[0008] また、前記構成によれば、医療情報置換部で置き換えられた中央側医療情報の変更処理を禁止する変更禁止部と、を有している。

このため、一旦、医療情報置換部で置き換えられた中央側医療情報は、端末側管理装置では、変更処理できないため、爾後、端末側管理装置による、当該中央側医療情報の変更が行われず、かかる情報の統一性が保たれ、信頼性が向上する。

[0009] 好ましくは、前記医療情報置換部で置き換えられる前記端末側医療情報が閲覧可能情報となることを特徴とする医療情報管理システムである。

[0010] 前記構成によれば、医療情報置換部で置き換えられる端末側医療情報が閲覧可能情報となる。このため、例えば、端末側管理装置で独自に保持されて、その後、中央側医療情報に置き換えられた端末側医療情報を、利用者が閲覧することができるので、過去の端末側医療情報を効率的に利用することができる。

[0011] 好ましくは、前記取得情報選択部で選択される前記中央側医療情報が複数形成され、この複数の前記中央側医療情報の一部又は全部が相互に関連付けられており、これら関連付けられている前記中央側医療情報の少なくとも一部を前記取得情報選択部が選択することで、これら関連付けられている前記中央側医療情報の全てが前記中央管理装置から取得される構成となっていることを特徴とする医療情報管理システムである。

[0012] 前記構成によれば、取得情報選択部で選択される中央側医療情報が複数形成され、この複数の中央側医療情報の一部又は全部が相互に関連付けられており、これら関連付けられている中央側医療情報の少なくとも一部を取得情報選択部が選択することで、これら関連付けられている中央側医療情報の全てが中央管理装置から取得される構成となっている。

すなわち、複数の中央側医療情報、例えば、処方情報、患者情報、薬剤情報等は、相互に密接に関連しているため、これらの医療情報は、相互に関連付けられている。

このため、例えば、利用者等が取得情報選択部を介して、処方情報を選択した場合は、これと関連付けられている患者情報や薬剤情報等の医療情報が一括して選択され、これらの中央側医療情報が端末側医療情報に置き換えられることになる。

したがって、端末側管理装置は、関連する中央側医療情報を一括して、取得することができるので、精度の高い医療情報と置き換えることができる。

発明の効果

[0013] 本発明は、主に病棟における患者の管理用コンピュータ等である端末側管理装置と、この端末側管理装置及び他の管理用コンピュータ等である端末側管理装置を統合した全体の管理装置との間の情報の統合を、円滑且つ迅速に行うことができるという利点がある。

図面の簡単な説明

[0014] [図1]本発明である医療情報管理システムの実施の形態に係る血糖値データ管理システム示す概略図である。

[図2]図1のH I S中央管理装置の主な構成を示す概略ブロック図である。

[図3]図1のH I S中央管理装置データベース内に格納されているデータ例を示す概略図である。

[図4]図1の個別管理装置（A）等の構成を示す概略ブロック図である。

[図5]図4の第1の記憶部の主な構成を示す概略ブロック図である。

[図6]図4の第2の記憶部の主な構成を示す概略ブロック図である。

[図7]図5の使用者情報のデータ例を示す図である。

[図8]図5の患者情報のデータ例を示す図である。

[図9]図5の処方情報のデータ例を示す図である。

[図10]図5の薬剤情報のデータ例を示す図である。

[図11]図5の共通S S情報のデータ例を示す図である。

[図12]本実施の形態にかかる血糖値データ管理システムの主な動作例を示す概略フローチャートである。

[図13]通信設定をする画面例を示す概略図である。

[図14]手入力使用者の非表示化を示す画面例である。

[図15]H I S中央管理装置データベースから取得した「使用者情報の基本情報」を示す画面例の概略図である。

[図16]H I S中央管理装置データベースから取得した「使用者情報の基本情報」が編集不可状態となっていることを示す画面例の概略図である。

[図17]通信設定をする画面例を示す他の概略図である。

[図18]手動入力（過去に入力した）した患者情報が閲覧専用情報となっている状態を示す画面例の概略図である。

[図19]H I S中央管理装置データベースから取得された「患者情報の基本情報」を示す画面例の概略図である。

[図20]H I S中央管理装置データベースから取得した「患者情報の基本情報」が編集不可状態となっていることを示す画面例の概略図である。

[図21]通信設定をする画面例を示す他の概略図である。

[図22]関連ある情報が同時に自動選択された状態を示す概略図である。

発明を実施するための形態

[0015] 以下、この発明の好適な実施の形態を添付図面等を参照しながら、詳細に説明する。

尚、以下に述べる実施の形態は、本発明の好適な具体例であるから、技術的に好ましい種々の限定が付されているが、本発明の範囲は、以下の説明において特に本発明を限定する旨の記載がない限り、これらの態様に限られるものではない。

[0016] 図1は、本発明である医療情報管理システムの実施の形態に係る血糖値データ管理システム1を示す概略図である。図1に示すように、血糖値データ管理システム1は、中央管理装置である例えば、H I S中央管理装置10を有している。このH I S中央管理装置10のH I Sは、H o s p i t a l I n f o r m a t i o n S y s t e mの略であり、病院内のコンピュータシステムを指す。また、H I Sは、一般には、会計や検査の予約、カルテ管理、薬の処方、食事の管理等を行うが、本実施の形態のH I S中央管理装置10は、主に血糖値データの管理を行う構成となっている。

[0017] また、このH I S中央管理装置10には、図1に示すように端末側管理装置である例えば、複数の個別管理装置(A)30a、個別管理装置(B)30b、個別管理装置(C)30c等と有線又は無線で通信可能に接続されている。

これら個別管理装置(A)30a等は、例えば、病院内のナースステーション等に配置され、病棟に入院中の患者の血糖値データ等を管理する構成となっている。

[0018] 図1のH I S中央管理装置10、個別管理装置(A)30a等は、それぞれ、コンピュータを有している。

このコンピュータは、CPU (C e n t r a l P r o c e s s i n g U n i t)、RAM (R a n d o m A c c e s s M e m o r y)、ROM (R e a d O n l y M e m o r y)等を有し、これらは、バス等を介して配置されている。

このバスは、すべてのデバイスを接続する機能を有し、アドレスやデータバスを有する内部バスである。CPUは所定のプログラムの処理を行う他、バスに接続されたROM等を制御している。ROMは、各種プログラムや各種情報等を格納している。RAMは、プログラム処理中のメモリの内容に対比したり、プログラムを実行するためのエリアとしての機能を有する。

[0019] 図2は、図1のHIS中央管理装置10の主な構成を示す概略ブロック図である。図2に示すように、HIS中央管理装置10は、HIS中央管理装置側制御部11を有する共に、図1の個別管理装置(A)30a等と有線又は無線で通信するためのHIS中央管理装置側送受信装置12や、データ等を表示するための表示部であるHIS中央管理装置側ディスプレイ13を有し、これらは、HIS中央管理装置側制御部11と接続されている。

また、HIS中央管理装置10は、図2に示すようにHIS中央管理装置データベース14を有し、これもHIS中央管理装置側制御部11と接続されている。

[0020] HIS中央管理装置データベース14内には、HIS中央管理装置10が取得したデータが格納されている。すなわち、本実施の形態では、通常は、HIS中央管理装置10と個別管理装置(A)30a等とは通信可能に接続されておらず、それぞれが、独自にデータを取得する構成となっている。

したがって、図2のHIS中央管理装置10は、図示しない入力装置から取得したデータをHIS中央管理装置データベース14に登録する構成となっている。

[0021] 図3は、図1のHIS中央管理装置データベース14内に格納されているデータ例を示す概略図である。図3に示すように、HIS中央管理装置データベース14内には、看護師等の使用者情報、患者情報、処方情報、薬剤情報そして共通SS（スライディングスケール）情報等が記憶されている。

ここで、スライディングスケールとは、直近の血糖値の結果に応じて、インスリンの注射量を加減するための目安をいう。例えば、食事前の血糖値目標が「90～149mg/dl」のところ、実測の血糖値（mg/dl）が「

「１５０～２００」のとき、スライディングスケールは「食事に対して必要とされるインスリン＋１単位」となる。

[0022] 図４は、図１の個別管理装置（Ａ）３０ａ等の構成を示す概略ブロック図である。図４に示すように、個別管理装置（Ａ）３０ａ等は、個別管理装置側制御部３１を有している。

また、個別管理装置（Ａ）３０ａ等は、図１のＨＩＳ中央管理装置１０と有線又は無線で通信するための個別管理装置側送受信装置３２や、データ等を表示するための表示部である個別管理装置側ディスプレイ３３を有している。これら個別管理装置側送受信装置３２及び個別管理装置側ディスプレイ３３は、個別管理装置側制御部３１に接続されている。

また、図４に示すように、個別管理装置（Ａ）３０ａ等は、第１の記憶部４０及び第２の記憶部５０を有し、これらは個別管理装置側制御部３１と接続されている。

[0023] 図５は、図４の第１の記憶部４０の主な構成を示す概略ブロック図であり、図６は、図４の第２の記憶部５０の主な構成を示す概略ブロック図である。

図４等の第１の記憶部４０と第２の記憶部５０との区分は、実際に、データ等が、かかる区分で分けて配置されているとの意味ではなく、説明の便宜上、分けて説明したに過ぎない。

[0024] 図５の第１の記憶部４０には、主にナースステーション等に配置されている個別管理装置（Ａ）３０ａ等が、ＨＩＳ中央管理装置１０とは別個独自に取得したデータが記憶された状態が示されている。

すなわち、図５に示すように、看護師等の使用者情報記憶部４１には、使用者情報４１ａが記憶されている。図７は、図５の使用者情報４１ａのデータ例を示す図である。

図７に示すように、使用者情報４１ａには、手動（個別管理装置（Ａ）３０ａ等で独自に取得）又はＨＩＳ（ＨＩＳ中央管理装置１０から取得）の別や、編集の可否、個別管理装置側ディスプレイ３３に表示するためのものか

、若しくは、基本情報か否か等が示されると共に、入力された使用者情報が格納される。

[0025] また、図5には、患者情報記憶部42が配置され、そこには、患者情報42aが記憶されている。図8は、図5の患者情報42aのデータ例を示す図である。

図8に示すように、患者情報42aは、使用者情報41aと同様に手動／HIS、編集可否、表示用か否か、そして、基本情報か否か等が示されていると共に、当該データが閲覧情報か否か、そしてデータの有効終了日等が記されている。さらに、入力された患者情報が格納されている。

[0026] また、図5には、処方情報記憶部43が配置され、そこには、処方情報43aが記憶されている。図9は、図5の処方情報43aのデータ例を示す図である。

図9に示すように、処方情報は患者情報42aと同様に、手動／HIS、編集可否、表示用か否か、閲覧情報か否か、そして、データの有効終了日が示されていると共に、処方（測定・投与計画）情報、例えば、処方ID、処方計画等が入力され、記憶される。

[0027] また、図5には、薬剤情報記憶部44が配置され、そこには、薬剤情報44aが記憶されている。図10は、図5の薬剤情報44aのデータ例を示す図である。

図10に示すように、薬剤情報は、処方情報43aと同様に、手動／HIS、編集可否、表示用か否か、閲覧情報か否か、そして、データの有効終了日が示されていると共に、薬剤情報、例えば、具体的な薬剤名であるヤクザイC、ヤクザイD等が入力され、記憶される。

[0028] また、図5には、共通SS情報記憶部45が配置され、そこには、共通SS情報45aが記憶されている。図11は、図5の共通SS情報45aのデータ例を示す図である。

図11に示すように、共通SS情報45aは、薬剤情報44aと同様に、手動／HIS、編集可否、表示用か否か、閲覧情報か否か、そして、データ

の有効終了日が示されていると共に、共通ＳＳ情報４５a、例えば、共通ＳＳ情報Cや共通ＳＳ情報D等が入力され、記憶される。

[0029] 図１２は、本実施の形態にかかる血糖値データ管理システム１の主な動作例を示す概略フローチャートである。

以下、図１２のフローチャートに沿って、血糖値データ管理システム１の動作等を説明しながら、図２乃至図１１の各構成等についても併せて説明する。

[0030] 先ず、病院のナースステーションに配置されている図１に示す個別管理装置（A）３０a等と、他の場所に配置されているHIS中央管理装置１０とは、多くの場合、通信可能に接続されておらず、個別管理装置（A）３０a等とHIS中央管理装置１０は、それぞれ、独自に使用者情報、患者情報、処方情報、薬剤情報そして共通ＳＳ情報等を取得する。

これは、各個別管理装置（A）３０a等とHIS中央管理装置１０を構成するコンピュータが異なるメーカー若しくはシステムを搭載している場合が多く、これらを常時接続とするには、システムの統合等が必要で、莫大なコストがかかるためである。

[0031] そして、個別管理装置（A）３０aとHIS中央管理装置１０が接続されていないときは、個別管理装置（A）３０aにおいては、各情報が、手動入力等によって直接、図５で示される使用者情報記憶部４１、患者情報記憶部４２、処方情報記憶部４３、薬剤情報記憶部４４及び共通ＳＳ情報記憶部４５に記憶される。

また、HIS中央管理装置１０では、図２のHIS中央管理装置データベース１４に記憶される。

[0032] したがって、HIS中央管理装置１０と個別管理装置（A）３０aとが接続されていない、通常状態では、個別管理装置（A）３０aやHIS中央管理装置１０内に各データが蓄積した状態となる。

その後、システム変更を行うことによって、個別管理装置（A）３０aとHIS中央管理装置１０との通信可能な状態となると、相互間の情報通信が

実行される。具体的には、図 12 のフローチャートに沿って説明する。

[0033] まず、図 1 の個別管理装置 (A) 30a の操作者等が、通信可能な状態にある H I S 中央管理装置 10 からデータを取得したい場合は、個別管理装置 (A) 30a を動作させ、個別管理装置側ディスプレイ 33 に図 13 の画面例を表示させる。

図 13 は、通信設定をする画面例を示す概略図である。

図 13 に示すように、通信設定の画面例には、「外部システムとの通信設定」の項目の中に「外部システム取得情報」の項目があり、この項目には、「使用者情報」、「患者情報」「薬剤情報」「測定・投与計画情報（処方情報）」、「共通 S S 情報」等が含まれている。

これらの情報は、図 3 の H I S 中央管理装置 10 の H I S 中央管理装置データベース 14 に登録されている。そこで、個別管理装置 (A) 30a と H I S 中央管理装置 10 の情報を統合させるため、個別管理装置 (A) 30a は、H I S 中央管理装置 10 から、必要な情報を取得することとなる。

[0034] 具体的には、操作者等は、H I S 中央管理装置データベース 14 から取得したい情報を図 13 の通信設定の画面で選択する。

すなわち、「使用者情報」、「患者情報」「薬剤情報」「測定・投与計画情報（処方情報）」、「共通 S S 情報」等のいずれか、又は全てを選択する。具体的には、画面上で該当項目をクリックする。

ここで、例えば、「使用者情報」の項目をクリックした例について説明する。

[0035] まず、図 12 の S T 1 で、使用者情報を外部取得するか否かが判断される。具体的には、図 6 の第 2 の記憶部 50 の H I S 使用者情報取得可否判断部（プログラム）51 が動作して、図 13 の「使用者情報」をクリックしたか否かが判断される。

したがって、図 13 の通信設定の画面例及び図 6 の H I S 使用者情報可否判断部（プログラム）51 等が、取得情報選択部の一例となっている。また、図 13 の画面例の「使用者情報」、「患者情報」「薬剤情報」「測定・投

与計画情報（処方情報）」、「共通ＳＳ情報」等が中央側医療情報（医療情報）の一例となっている。

[0036] ＳＴ１で使用者情報を外部取得、すなわち、ＨＩＳ中央管理装置１０から取得すると判断された場合は、ＳＴ２へ進む。ＳＴ２では、既に手動入力済みの使用者情報を非表示用に変更する。

具体的には、図６の手動入力使用者情報変更部（プログラム）５２が動作して、図７の使用者情報４１ａのうち、手動で入力されている「使用者情報の基本情報」を選択し、当該使用者情報の基本情報の「表示」を「非表示」に変更する。

すると、個別管理装置側ディスプレイ３３の画面例は、図１４に示すようになる。図１４は、手入力使用者の非表示化を示す画面例である。

図１４に示すように、操作者等が過去に手動で入力した使用者情報４１ａは、画面に表示されない。

[0037] 次いで、図示しないＨＩＳ中央管理装置データベース１４のデータ取得部（プログラム）が実行され、個別管理装置（Ａ）３０ａが、通信回線を介して、図２及び図３のＨＩＳ中央管理装置データベース１４に記憶されている「使用者情報の基本情報」の取得を開始する。

次いで、ＳＴ３へ進む。ＳＴ３では、ＨＩＳ使用者情報の基本情報を取得したか否かが判断される。

具体的には、図６のＨＩＳ使用者情報取得判断部（プログラム）５３が動作し、図３のＨＩＳ中央管理装置データベース１４から、個別管理装置（Ａ）３０ａが「使用者情報の基本情報」を取得したか否かを判断する。

[0038] ＳＴ３で、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から「使用者情報の基本情報」を取得したと判断したときは、ＳＴ４へ進む。ＳＴ４では、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から取得した「使用者情報の基本情報」を、図７の個別管理装置（Ａ）３０ａの使用者情報４１ａに、「ＨＩＳ」として記憶する。このとき、当該「使用者情報の基本情報」は、「表示」可とし、且つ「編集」不可として登録する。

したがって、H I S中央管理装置データベース14から取得された「使用者情報の基本情報」は、図15に示すように表示され、図16に示すように編集不可となる。

[0039] この工程は、具体的には、図6のH I S使用者情報登録部（プログラム）54が動作して実行され、このH I S使用者情報登録部（プログラム）54が、医療情報置換部の一例となっている。

図15は、H I S中央管理装置データベース14から取得した「使用者情報の基本情報」を示す画面例の概略図である。図16は、H I S中央管理装置データベース14から取得した「使用者情報の基本情報」が編集不可状態となっていることを示す画面例の概略図である。

[0040] このように、本実施の形態では、「使用者情報の基本情報」をH I S中央管理装置データベース14から取得することを選択し、この選択によって取得された「使用者情報の基本情報」は、過去に個別管理装置（A）30aによって独自に取得された「使用者情報の基本情報」と置き換えられる。

したがって、爾後、個別管理装置（A）30aの操作者等は、「使用者情報の基本情報」がH I S中央管理装置データベース14の情報に統合されるので、効率的な管理をすることができることになる。

また、置き換えられた「使用者情報の基本情報」は、図7及び図16に示すように、「編集」不可となるため、爾後、操作者等によって、「使用者情報の基本情報」の内容が書き換えられることがないので、情報の信頼性を向上させることができる。

[0041] また、個別管理装置（A）30aの操作者等は、H I S中央管理装置データベース14から取得する医療情報を選択でき、例えば、「使用者情報の基本情報」のみ取得し、他の「患者情報」等の異なる種類の情報は取得しないとすることもできる。

したがって、個別管理装置（A）30aの医療情報のうち、H I S中央管理装置データベース14と置き換える必要がない情報は、そのまま操作者等が利用することができることになる。

このように、本実施の形態では、全ての医療情報を一括してH I S中央管理装置 1 0 から取得して、一括して書き換えることの弊害の発生を未然に防止することができる。

このように、H I S中央管理装置 1 0 から医療情報を取得する際、各個別管理装置 (A) 3 0 a の事情に応じて必要な医療情報のみの書き換えを実行することができるので、極めて使い勝手の良いシステムとなっている。

[0042] 次に、個別管理装置 (A) 3 0 a の操作者等が、H I S中央管理装置データベース 1 4 から「患者情報の基本情報」を取得する例について説明する。

まず、操作者等は、個別管理装置 (A) 3 0 a の個別管理装置側ディスプレイ 3 3 に図 1 7 の画面例を表示させる。図 1 7 は、図 1 3 と同様に通信設定をする画面例を示す概略図である。そして、操作者等は、図 1 7 の「患者情報」をクリックする。

[0043] すると、図 1 2 の S T 1 1 に進む。S T 1 1 では、患者情報を外部取得するか否かが判断される。具体的には、図 6 の H I S 患者情報取得可否判断部 (プログラム) 5 5 が動作して、図 1 7 の「患者情報」をクリックしたか否かを判断する。

[0044] S T 1 1 で、患者情報を外部取得、すなわち、H I S中央管理装置 1 0 から取得すると判断した場合は、S T 1 2 へ進む。S T 1 2 では、既に手動入力済みの患者情報を閲覧専用情報に変更し、変更日と関連付ける。

具体的には、図 6 の手動入力患者情報変更部 (プログラム) 5 6 が動作し、図 8 の患者情報 4 2 a のうち、手動で入力した「患者情報の基本情報」を閲覧専用情報に変更し、その変更日を有効終了日として登録する。

これは画面例では、図 1 8 のようになる。図 1 8 は、手動入力 (過去に入力) した「患者情報の基本情報」が閲覧専用情報となっている状態を示す画面例の概略図である。

図 1 8 に示すように、個別管理装置 (A) 3 0 a で過去に入力した患者情報うちの基本情報は、閲覧専用となり、変更した日が、有効終了日となる。また、閲覧専用となった患者情報は、編集が不可とされるが、削除は可能と

なる。この変更された患者情報の基本情報が、閲覧可能情報の一例となっている。

[0045] 次いで、図示しないH I S中央管理装置データベース14のデータ取得部（プログラム）が実行され、個別管理装置（A）30aが、通信回線等を通じて、図2及び図3のH I S中央管理装置データベース14に記憶されている「患者情報の基本情報」の取得を開始する。

[0046] 次いで、S T 1 3へ進む。S T 1 3では、H I S患者情報の基本情報を取得したか否かが判断される。具体的には、図6のH I S患者情報取得判断部（プログラム）57が動作し、図3のH I S中央管理装置データベース14から、個別管理装置（A）30aが「患者情報の基本情報」を取得したか否かを判断する。

[0047] S T 1 3で、H I S中央管理装置データベース14から「患者情報の基本情報」を取得したと判断したときは、S T 1 4へ進む。S T 1 4では、H I S中央管理装置データベース14から取得した「患者情報の基本情報」を、図7の個別管理装置（A）30aの患者情報42aに、「H I S」として記憶する。このとき、当該「患者情報の基本情報」は、「表示」可とし、且つ「編集」不可として登録する。

したがって、H I S中央管理装置データベース14から取得された「患者情報の基本情報」は、図19に示すように表示され、図20に示すように編集不可となる。

この工程は、具体的には、図6のH I S患者情報登録部（プログラム）58が動作して実行される。

[0048] 図19は、H I S中央管理装置データベース14から取得された「患者情報の基本情報」を示す画面例の概略図である。図20は、H I S中央管理装置データベース14から取得した「患者情報の基本情報」が編集不可状態となっていることを示す画面例の概略図である。

[0049] このように、本実施の形態では、「患者情報の基本情報」をH I S中央管理装置データベース14から取得することを選択し、この選択によって取得

された「患者情報の基本情報」は、過去に個別管理装置（Ａ）３０ａによって独自に取得された「患者情報の基本情報」と置き換えられる。

ただし、過去に個別管理装置（Ａ）３０ａが独自に取得した「患者情報の基本情報」は、図８及び図１８に示すように、閲覧専用情報となるため、操作者等が爾後、必要に応じて参照することができるので、効率的に過去の「患者情報の基本情報」を利用することができる。

[0050] 次に、個別管理装置（Ａ）３０ａの操作者等が、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から「処方情報（測定・投与計画情報）」を取得する例について説明する。

まず、操作者等は、個別管理装置（Ａ）３０ａ等の個別管理装置側ディスプレイ３３に図２１の画面例を表示させる。図２１は、図１３と同様に通信設定をする画面例を示す概略図である。そして、操作者等は、図２１の「測定・投与計画情報」（処方情報）をクリックする。

[0051] すると、図１２のＳＴ２１に進む。ＳＴ２１では、処方情報を外部取得するか否かが判断され、ＳＴ２１で、処方情報を外部取得すると判断された場合は、ＳＴ２２へ進む。ＳＴ２２では、患者情報、薬剤情報及び共通ＳＳ情報も外部取得に変更される。

すなわち、図２２の画面例に示すように、操作者等が「測定・投与計画情報」（処方情報）をクリックした場合は、これと関連付けてある他の「患者情報（の基本情報）」、「薬剤情報」及び「共通ＳＳ情報」もクリックしたものとして処理され、これらの情報も併せて外部取得する構成となっている。

図２２は、関連ある情報が同時に自動選択された状態を示す概略図である。

[0052] 相互に関連のある医療情報、例えば、「測定・投与計画情報」（処方情報）、「患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通ＳＳ情報」を、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から別個に個別の情報として取得した場合、データに矛盾等が生じ、データの精度が低下するおそれがある。

そこで、本実施の形態では、これら相互に密接に関連のある「測定・投与計画情報」（処方情報）等の医療情報は、相互に関連付けられ、これらのいずれか一つの医療情報を操作者等がクリックして選択したときは、これらが全て自動的に選択される構成となっている。

このST21及びST22の工程は、図6の患者情報、薬剤情報及び共通SS情報等外部取得変更部（プログラム）59が動作して実行される。

[0053] 次いで、ST23に進む。ST23では、既に手動入力済みの処方情報、患者情報の基本情報、薬剤情報及び共通SS情報を閲覧専用情報に変更し、変更日と関連付ける。

また、閲覧専用となった患者情報の基本情報等は、編集が不可とされが、削除は可能となる。

具体的には、図6の手動入力処方情報等変更部（プログラム）60が動作し、図8の患者情報42a、図9の処方情報43a、図10の薬剤情報44a及び図11の共通SS情報45aのうち、手動で入力した患者情報の基本情報や処方情報、薬剤情報、共通SS情報を閲覧専用情報に変更し、その変更日を有効終了日として登録する。

[0054] 次いで、図示しないHIS中央管理装置データベース14のデータ取得部（プログラム）が実行され、個別管理装置（A）30aが、通信回線を介して、図2及び図3のHIS中央管理装置データベース14に記憶されている「処方情報」、「患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通SS情報」の取得を開始する。

[0055] 次いで、ST24へ進む。ST24では、HIS患者情報を取得したか否かが判断される。具体的には、図6のHIS処方情報、患者情報、薬剤情報及び共通SS情報取得可否判断部（プログラム）61が動作し、個別管理装置（A）30aが、図3のHIS中央管理装置データベース14から、「処方情報」、「患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通SS情報」を取得したか否かを判断する。

[0056] ST24で、HIS中央管理装置データベース14から「処方情報」、「

患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通ＳＳ情報」を取得したと判断したときは、ＳＴ２５へ進む。ＳＴ２５では、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から取得した「処方情報」を、図９の個別管理装置（Ａ）３０ａの処方情報４３ａに「ＨＩＳ」として記憶する。このとき、処方情報４３ａは、「表示」可とし、且つ「編集」不可として登録される。

また、「患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通ＳＳ情報」も同様に、「表示」可とし、且つ「編集」不可として登録される。具体的には、図８の患者情報４２ａ、図１０の薬剤情報４４ａ及び図１１の共通ＳＳ情報４５ａで示されるように登録される。

この工程は、図６の手動入力処方情報、患者情報、薬剤情報及び共通ＳＳ情報変更部（プログラム）６２が動作することで実行される。

[0057] このように、本実施の形態では、相互に関連のある医療情報である「処方情報」、「患者情報の基本情報」、「薬剤情報」及び「共通ＳＳ情報」が一括して、ＨＩＳ中央管理装置データベース１４から取得されるので、密接に関連のある医療情報を別々に置き換えることを防止でき、個別管理装置（Ａ）３０ａの医療情報の精度を向上させることができる。

[0058] 本発明は、上述の各実施の形態に限定されない。

符号の説明

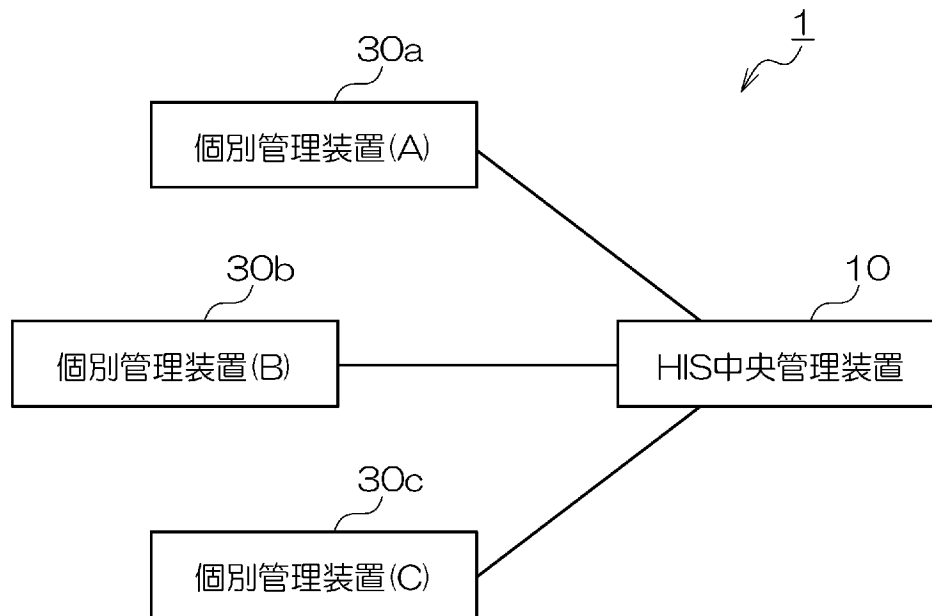
[0059] １・・・血糖値データ管理システム、１０・・・ＨＩＳ中央管理装置、１１・・・ＨＩＳ中央管理装置側制御部、１２・・・ＨＩＳ中央管理装置側送受信装置、１３・・・ＨＩＳ中央管理装置側ディスプレイ、１４・・・ＨＩＳ中央管理装置データベース、３０ａ・・・個別管理装置（Ａ）、３０ｂ・・・個別管理装置（Ｂ）、３０ｃ・・・個別管理装置（Ｃ）、３１・・・個別管理装置側制御部、３２・・・個別管理装置側送受信装置、３３・・・個別管理装置側ディスプレイ、４０・・・第１の記憶部、４１・・・使用者情報記憶部、４２・・・患者情報記憶部、４３・・・処方情報記憶部、４４・・・薬剤情報記憶部、４５・・・共通ＳＳ情報記憶部、５０・・・第２の記憶部、５１・・・ＨＩＳ使用者情報取得可否判断部（プログラム）、５２・

・手動入力使用者情報変更部（プログラム）、53・・・HIS使用者情報取得判断部（プログラム）、54・・・HIS使用者情報登録部（プログラム）、55・・・HIS患者情報取得可否判断部（プログラム）、56・・・手動入力患者情報変更部（プログラム）、57・・・HIS患者情報取得判断部（プログラム）、58・・・HIS患者情報登録部（プログラム）、59・・・患者情報、薬剤情報及び共通SS情報等外部取得変更部（プログラム）、60・・・手動入力処方情報等変更部（プログラム）、61・・・HIS処方情報、患者情報、薬剤情報及び共通SS情報取得可否判断部（プログラム）、62・・・手動入力処方情報、患者情報、薬剤情報及び共通SS情報変更部（プログラム）

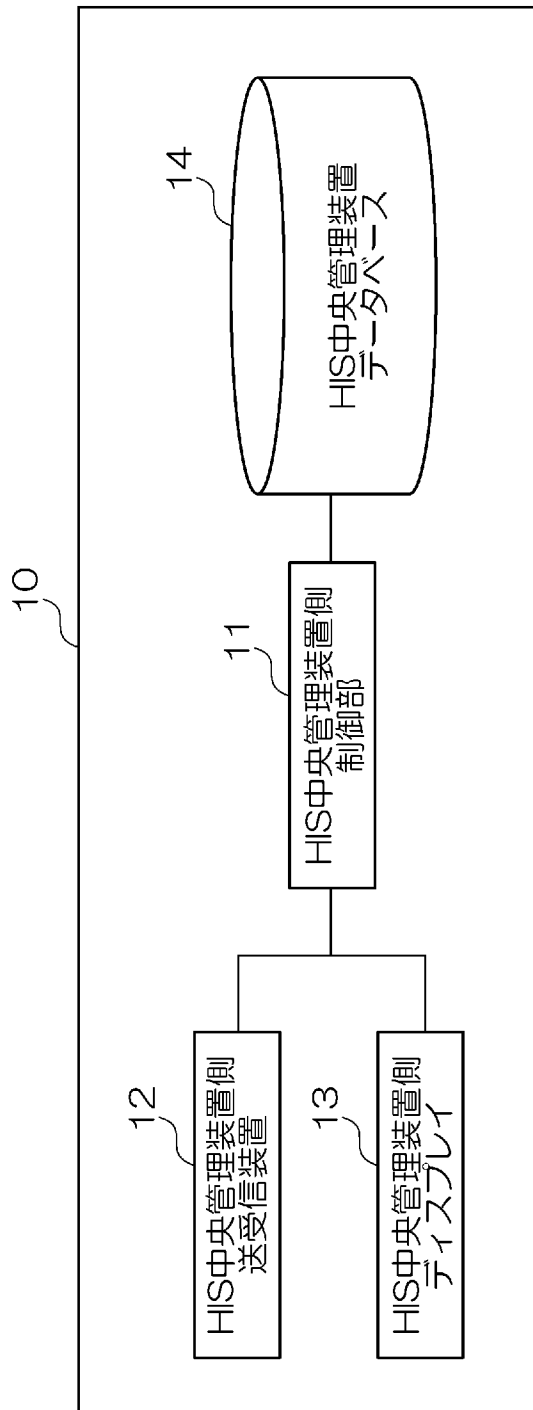
請求の範囲

- [請求項1] 複数の種類の医療情報である中央側医療情報を保持する中央管理装置と、
- 前記中央管理装置と通信可能であると共に、複数の種類の医療情報である端末側医療情報を前記中央管理装置とは別個に独自で保持する端末側管理装置と、を有し、
- 前記端末管理装置は、前記中央管理装置から取得する前記中央側医療情報を選択するための取得情報選択部と、
- 前記取得情報選択部で選択された前記中央側医療情報に対応する前記端末側医療情報を前記中央側医療情報と置き換えるための医療情報置換部と、
- 前記医療情報置換部で置き換えられた前記中央側医療情報の変更処理を禁止する変更禁止部と、を有することを特徴とする医療情報管理システム。
- [請求項2] 前記医療情報置換部で置き換えられる前記端末側医療情報が閲覧可能情報となることを特徴とする請求項1に記載の医療情報管理システム。
- [請求項3] 前記取得情報選択部で選択される前記中央側医療情報が複数形成され、
- この複数の前記中央側医療情報の一部又は全部が相互に関連付けられており、
- これら関連付けられている前記中央側医療情報の少なくとも一部を前記取得情報選択部が選択することで、これら関連付けられている前記中央側医療情報の全てが前記中央管理装置から取得される構成となっていることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の医療情報管理システム。

[図1]



[図2]



[図3]

14
↙

使用者情報	．．．
使用者ID	．．．
使用者姓	．．．
使用者名	．．．
使用者姓(カナ)	．．．
使用者名(カナ)	．．．

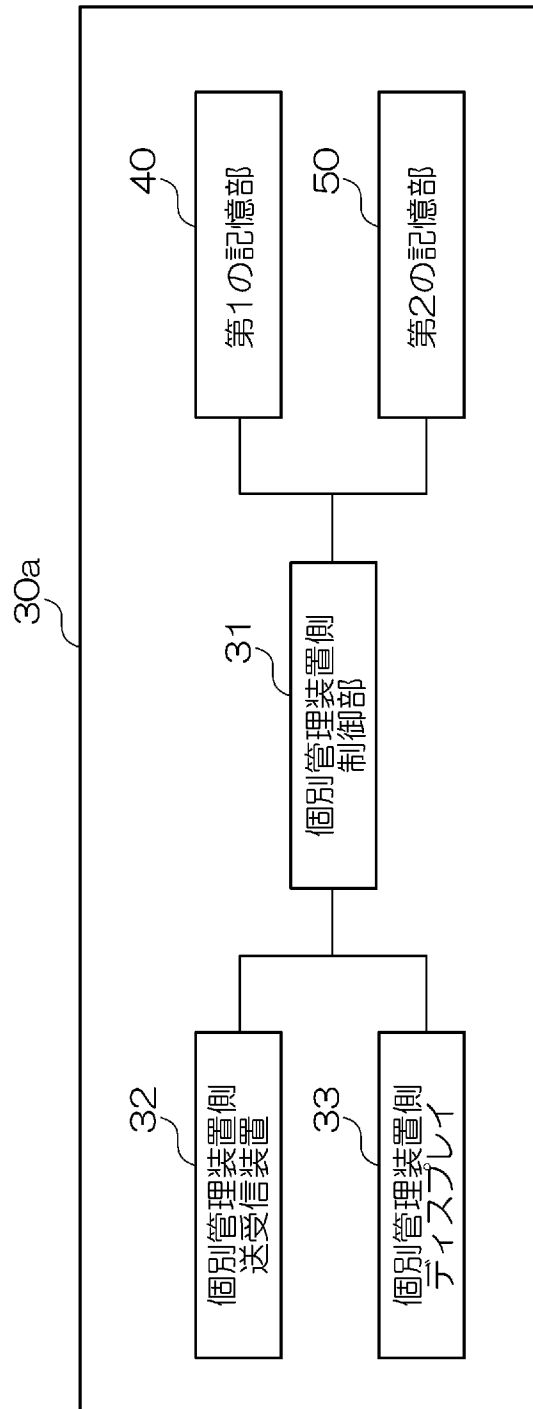
患者情報	．．．
患者ID	．．．
患者姓	．．．
患者名	．．．
患者姓(カナ)	．．．
患者名(カナ)	．．．

処方(測定・投与計画)情報	．．．
処方ID	．．．
処方計画データ(有効開始日等)	．．．

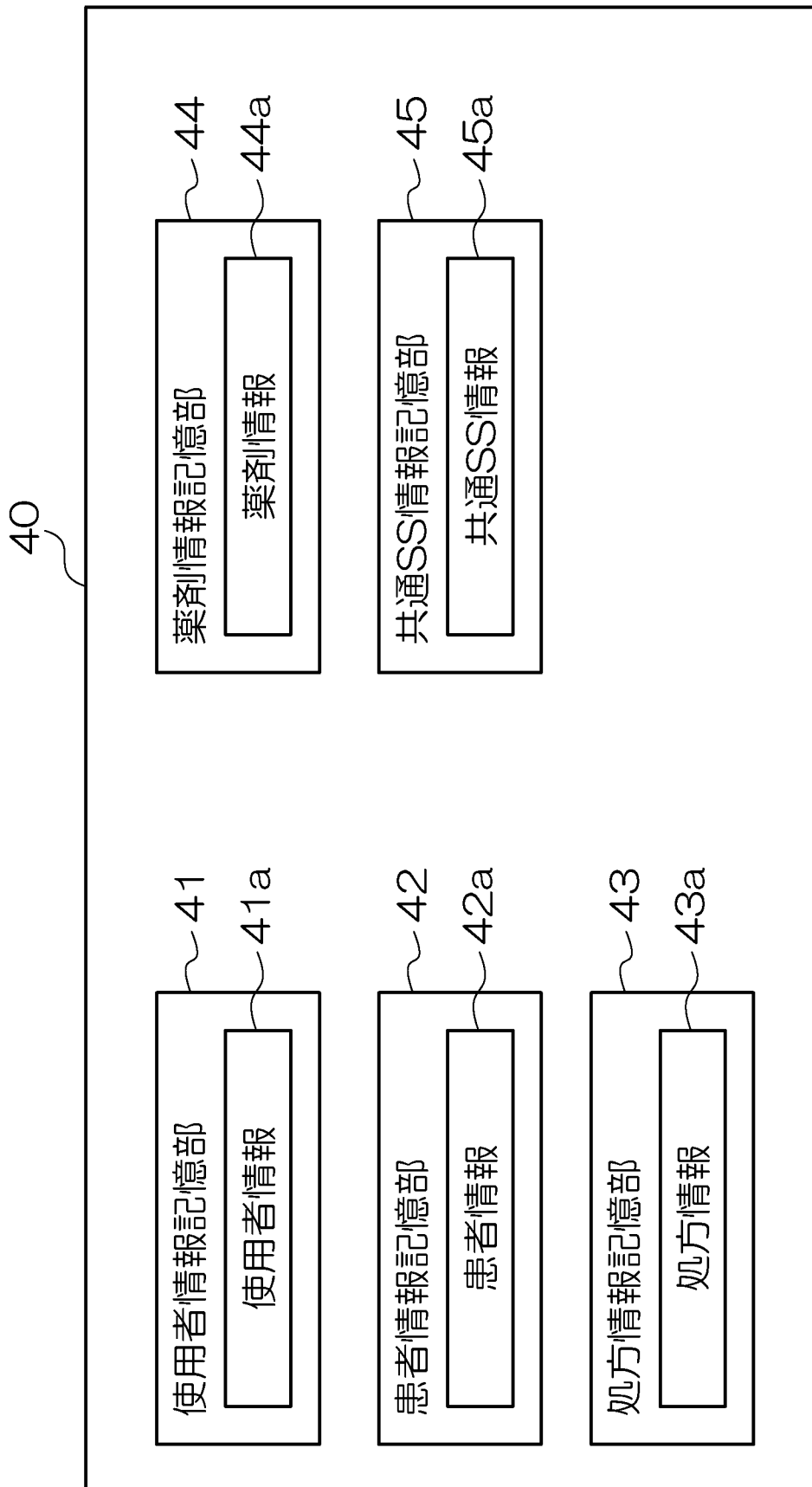
薬剤情報	
	ヤクザイC
	ヤクザイD

共通SS情報	
	共通SS情報C
	共通SS情報D

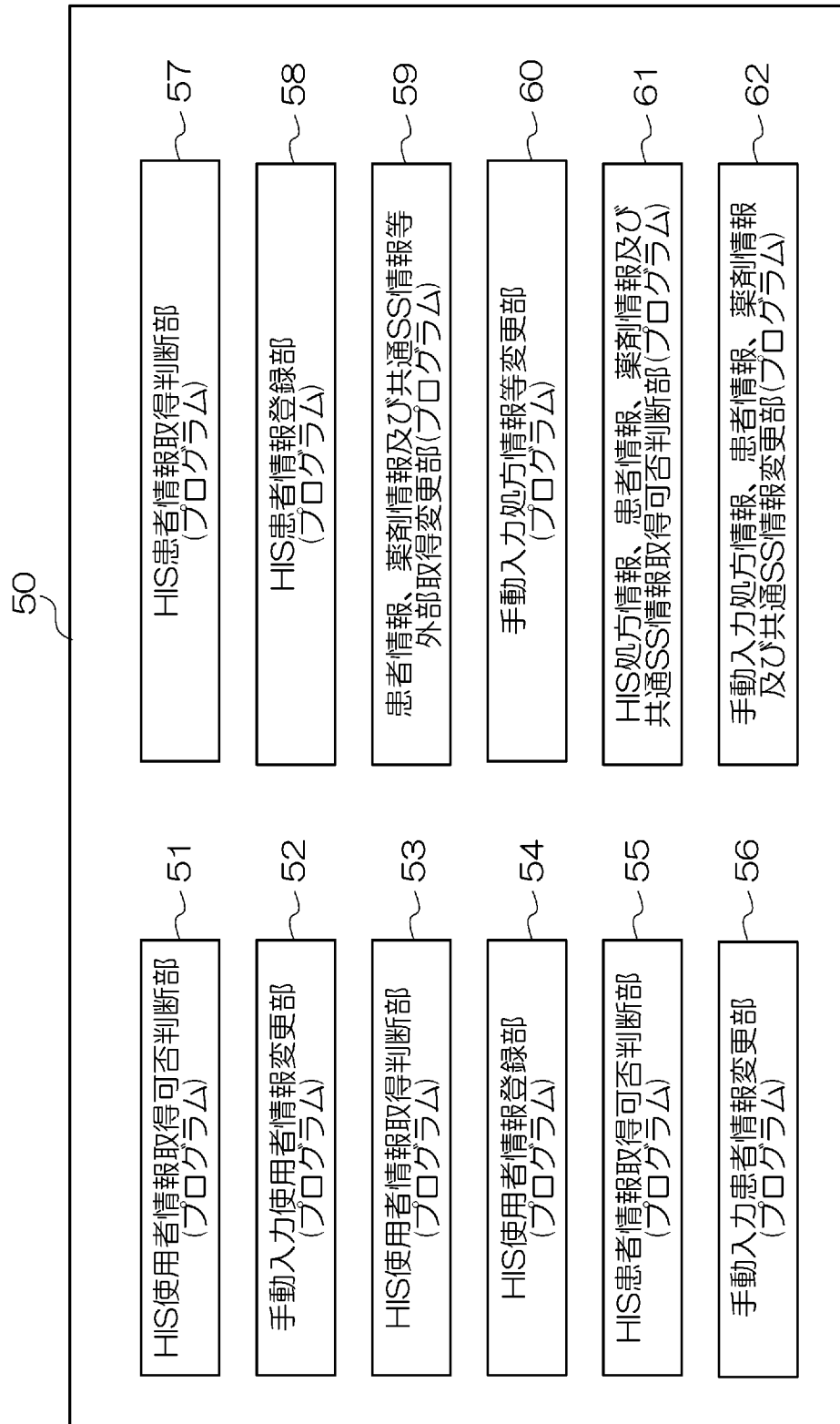
[図4]



[図5]



[図6]



[図7]

41a



手動/HIS	編集可否	表示	基本情報	使用者情報
手動	○	○→×	○	使用者ID
手動	○	○	×	パスワード
手動	○	○→×	○	使用者姓
手動	○	○→×	○	使用者名
手動	○	○→×	○	使用者姓(カナ)
手動	○	○→×	○	使用者名(カナ)
手動	○	○	×	医師
手動	○	○	×	血糖測定
手動	○	○	×	患者情報管理
手動	○	○	×	血糖測定履歴閲覧
手動	○	○	×	測定・投与計画情報管理
手動	○	○	×	QC管理
手動	○	○	×	使用者情報管理
手動	○	○	×	薬剤情報管理
手動	○	○	×	共通SS情報管理
手動	○	○	×	測定器管理
手動	○	○	×	システム管理
HIS	×	○	○	使用者ID
HIS	×	○	○	使用者姓
HIS	×	○	○	使用者名
HIS	×	○	○	使用者姓(カナ)
HIS	×	○	○	使用者名(カナ)

[図8]

42a
↘

手動/HIS	編集可否	表示	閲覧情報	終了日	基本情報	患者情報
手動	○→×	○	○	2009/8/26	○	患者ID
手動	○	○	—	—	×	パスワード
手動	○→×	○	○	2009/8/26	○	患者姓
手動	○→×	○	○	2009/8/26	○	患者名
手動	○→×	○	○	2009/8/26	○	患者姓(カナ)
手動	○→×	○	○	2009/8/26	○	患者名(カナ)
手動	○	○	—	—	×	医師
手動	○	○	—	—	×	グループ
HIS	×	○	—	—	○	患者ID
HIS	×	○	—	—	○	患者姓
HIS	×	○	—	—	○	患者名
HIS	×	○	—	—	○	患者姓(カナ)
HIS	×	○	—	—	○	患者名(カナ)

[図9]

43a

手動/HIS	編集可否	表示	閲覧情報	終了日	処方(測定・投与計画)情報
手動	O→X	O	O	2009/8/26	処方ID
手動	O→X	O	O	2009/8/26	処方計画データ(有効開始日等)
HIS	X	O	—	—	処方ID
HIS	X	O	—	—	処方計画データ(有効開始日等)

[図10]

44a



手動/HIS	編集可否	表示	閲覧情報	終了日	薬剤情報
手動	○→×	○	○	2009/8/26	ヤクザイB
手動	○→×	○	○	2009/8/26	ヤクザイA
HIS	×	○	—	—	ヤクザイC
HIS	×	○	—	—	ヤクザイD

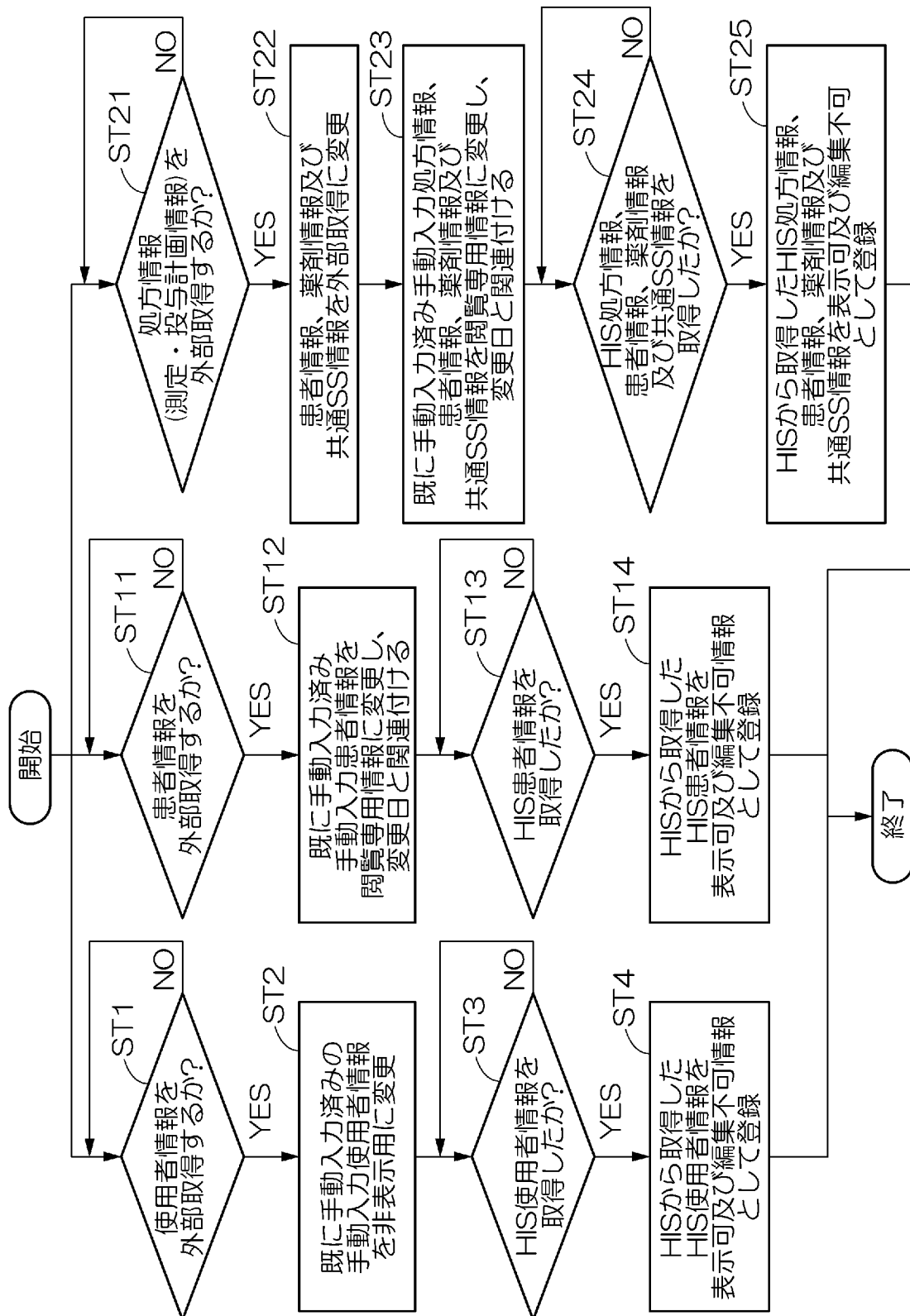
[図11]

45a



手動/HIS	編集可否	表示	閲覧情報	終了日	共通SS情報
手動	○→×	○	○	2009/8/26	共通SS情報A
手動	○→×	○	○	2009/8/26	共通SS情報B
HIS	×	○	—	—	共通SS情報C
HIS	×	○	—	—	共通SS情報D

[図12]



[図13]

■ 使用者名：甲田 一郎		内容表示		2009/08/26(水)		18:42		□グオフ	
ラウンド	患者管理	QC管理	使用者管理	薬剤管理	共通SS管理	測定器管理	システム管理		
運用設定		区分設定		通信設定		機能設定		システム設定	
システム識別ID		通信ポート設定		外部システムとの通信設定					
PCS006166		接続台数 3 台 PaSoRi有無 ☒ 有 ☐ 無		外部システム取得情報 ☐ 患者情報 ☐ 使用者情報 ☐ チップ情報 ☐ カード情報 ☐ 薬剤情報 ☐ 共通SS情報 ☐ 測定・投与計画情報 ☐ 患者グループ情報 ☐ 使用者区分情報 ☐ 測定器設定情報 ☐ システム設定 ☐ 警報設定情報 ☐ 測定予定時刻設定情報					
				外部システム通信間隔 600 sec(1~3600)					
				編集					

[図14]

■ 使用者名：甲田 一郎

ラウンド 患者管理 QC管理 使用者管理

使用者追加

氏名	区分
----	----

手入力した使用者が非表示になる

リストの印刷 削除 使用者編集

[図15]

■ 使用者名：甲田 一郎

内容表示

2009/08/26(水)

19:10

ログアウト

ラウンド

患者管理

QC管理

使用者管理

薬剤管理

共通SS管理

測定器管理

システム管理

氏名

区分

1	しろうしや1人目	
2	しろうしや2人目	
3	しろうしや3人目	
4	しろうしや4人目	
5	しろうしや5人目	
6	しろうしや6人目	
7	しろうしや7人目	
8	しろうしや8人目	

HIS取得した使用者

しろうしや1人目

区分：

ID

a

姓(カナ)

シヨウシャ

名(カナ)

1ニンメ

☒ 医師

☒ 血液測定

☒ QC管理

☒ 共通SS情報管理

☒ 患者情報管理

☒ 使用者情報管理

☒ 測定器管理

☒ 血糖測定履歴閲覧

☒ 薬剤情報管理

☒ システム管理

☒ 測定・投与計画情報管理

リストの印刷

削除

使用者編集

[図16]

使用者登録

使用者編集

ID

a

姓

しょうしゃ

(必須)

姓(カナ)

シヨウシャ

(必須)

名

1人目

(必須)

名(カナ)

1ニンメ

(必須)

☒ 医師

区分

▼

☒ 血液測定

☒ QC管理

☒ 共通SS情報管理

☒ 患者情報管理

☒ 使用者情報管理

☒ 測定器管理

☒ 血糖測定履歴閲覧

☒ 薬剤情報管理

☒ システム管理

☒ 測定・投与計画情報管理

パスワード

解除

戻る

登録

基本情報
変更不可

[図17]

■ 使用者名：甲田 一郎

内容表示

2009/08/26(水)

18:42

ログオフ

ラウンド

患者管理

QC管理

使用者管理

薬剤管理

共通SS管理

測定器管理

システム管理

運用設定

区分設定

通信設定

機能設定

システム設定

システム識別ID

PCS006166

通信ポート設定

接続台数

3

台

PaSoRi有無

☒有

☐無

外部システムとの通信設定

外部システム取得情報

☐ 患者情報

☐ 使用者情報

☐ ナップ情報

☐ ユロ-ル液情報

☐ 薬剤情報

☐ 共通SS情報

☐ 測定・投与計画情報

☐ 患者グループ情報

☐ 使用者区分情報

☐ 測定器設定情報

☐ システム設定

☐ 警報設定情報

☐ 測定予定時刻設定情報

外部システム通信間隔

600

sec(1~3600)

編集

[図18]

患者名：甲田 一郎

内容表示

2009/08/26(水)

18:54

ログオフ

ラウンド

患者管理

QC管理

使用者管理

薬剤管理

共通SS管理

測定器管理

システム管理

患者の追加

患者氏名	グループ	担当
未登録患者		
以下、閲覧のみ可能		
1 乙田一郎		甲田一郎
2 乙田三郎		甲田一郎
3 乙田四郎		
4 乙田二郎		甲田一郎

患者リストの印刷

削除

患者編集

乙田一郎
ID:987654321

血糖測定履歴

測定・投与計画

計画の追加

	有効開始日	有効終了日	投与区分	表示者	更新日
1	2009/08/01	2009/08/26	----	甲田一郎	2009/08/26

有効終了日が設定変更日になる

患者リストの印刷

削除

計画閲覧

計画編集

手入力した
患者

[図19]

□□□

■ 使用者名：しようしゃ1人目

内容表示

2009/08/26(水)

19:53

ログオフ

ラウンド

患者管理

QC管理

使用者管理

薬剤管理

共通SS管理

測定器管理

システム管理

伊能 白豚

ID:00110025

血糖測定履歴

測定・投与計画

計画の追加

患者氏名	グループ	担当
1 伊能 白豚		000003
2 落合 小次郎		000002
3 柴田 竹虎		000006
4 清水 さくら		000001
5 田川 航平		000001
6 夏目 嬢嬢		000006
7 藤川 一男		000005
8 三浦 愛子		000002
9 宮園 貴子		000005
10 望月 樹理		000004
11 未登録患者		
以下、閲覧のみ可能		
1 乙田 一郎		000001
2 乙田 三郎		
3 乙田 四郎		000001
4 乙田 二郎		000001

有効開始日

有効終了日

投与区分

表示者

更新日

患者リストの印刷

患者編集

削除

計画リストの印刷

削除

計画閲覧

計画編集

HIS取得
した患者

[図20]

The image shows a software interface for patient registration. At the top, there is a tab labeled "患者登録" (Patient Registration). Below it, a sub-tab labeled "患者編集" (Patient Edit) is active. A yellow warning box with the text "基本情報変更不可" (Basic information cannot be changed) is positioned above the form. The form contains several input fields: "ID" with the value "00110025", "姓" (Surname) with "伊能" (Inoue) and "(必須)" (Required), "姓(カナ)" (Surname Kana) with "イノウ" (Inoue) and "(必須)", "名" (Name) with "白豚" (Shiratoris) and "(必須)", and "名(カナ)" (Name Kana) with "シロブタ" (Shiratoris) and "(必須)". Below these are three dropdown menus: "担当医師" (Attending Physician) with "しょうしゃ 1人目" (Shousha 1st person) and a dropdown arrow, "グループ" (Group) with a dropdown arrow, and "測定器" (Measuring Device) with a dropdown arrow. At the bottom right, there are two buttons: "戻る" (Back) and "登録" (Register).

基本情報変更不可

患者登録

患者編集

ID 00110025

姓 伊能 (必須)

姓(カナ) イノウ (必須)

名 白豚 (必須)

名(カナ) シロブタ (必須)

担当医師 しょうしゃ 1人目 ▼

グループ ▼

測定器 ▼

戻る 登録

[図21]

■ 使用者名：甲田 一郎

内容表示

2009/08/26水

18:42

ログオフ

ラウンド

患者管理

QC管理

使用者管理

薬剤管理

共通SS管理

測定器管理

システム管理

運用設定

区分設定

通信設定

機能設定

システム設定

システム識別ID

PCS0006166

通信ポート設定

接続台数

3

台

PaSoRi有無

☒有

☐無

外部システムとの通信設定

☐ 患者情報

☐ チップ情報

☐ 薬剤情報

☐ 測定・投与計画情報

☐ 使用者区分情報

☐ システム設定

☐ 測定予定時刻設定情報

☐ 外部システム取得情報

☐ 使用者情報

☐ アンロー液情報

☐ 共通SS情報

☐ 患者グループ情報

☐ 測定器設定情報

☐ 警報設定情報

外部システム通信間隔

600

sec(1~3600)

編集

[図22]

■ 使用者名：甲田 一郎		内容表示		2009/08/26(水)		18:56		ログオフ							
ラウンド		患者管理		QC管理		使用者管理		薬剤管理		共通SS管理		測定器管理		システム管理	
運用設定		区分設定		通信設定		機能設定		システム設定							
システム識別ID		PCSO06166										外部システムとの通信設定			
通信ポート設定		接続台数 3 台 PaSoRi有無 ☒ 有 ☐ 無										外部システム取得情報			
												☒ 患者情報 ☐ 使用者情報			
												☐ チップ情報 ☐ リトール液情報			
												☒ 薬剤情報 ☒ 共通SS情報			
												☒ 測定・投与計画情報 ☐ 患者グループ情報			
												☐ 使用者区分情報 ☐ 測定器設定情報			
												☐ システム設定 ☐ 警報設定情報			
												☐ 測定予定時刻設定情報			
												外部システム通信間隔 600 sec(1~3600)			
														編集	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2010/005439

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q50/00 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q50/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2010

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2010 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2010

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2007-299396 A (General Electric Co.), 15 November 2007 (15.11.2007), entire text; fig. 1 to 6 & US 2004/0215981 A1 & GB 707816 D & DE 102007019375 A & CA 2585678 A	1-3
Y	JP 2008-507029 A (Ventana Medical Systems, Inc.), 06 March 2008 (06.03.2008), entire text; fig. 1 to 34 & US 2005/0038676 A1 & EP 1779317 A & WO 2006/019392 A1 & CA 2573232 A & CN 101031934 A	1-3



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

22 October, 2010 (22.10.10)

Date of mailing of the international search report

02 November, 2010 (02.11.10)

Name and mailing address of the ISA/

Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2010/005439

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	WO 02/039341 A1 (Mitsui Knowledge Industry Co., Ltd.), 16 May 2002 (16.05.2002), entire text; fig. 1 to 12 & AU 9593801 A	3
A	JP 2007-535979 A (Becton, Dickinson and Co.), 13 December 2007 (13.12.2007), entire text; fig. 1 to 30 & US 2009/0048870 A1 & EP 1741034 A & WO 2005/111086 A2 & KR 10-2007-0009727 A & BRA PI0510361 & CN 101023416 A & CA 2564322 A	1-3
A	JP 2005-522768 A (Becton, Dickinson and Co.), 28 July 2005 (28.07.2005), entire text; fig. 1 to 29 & EP 1497780 A & WO 2003/087996 A2 & WO 2003/087996 B & CA 2481353 A & BR 309180 A & CN 1659562 A & ZA 200408189 A	1-3
A	JP 2005-519413 A (Siemens Medical Solutions Health Services Corp.), 30 June 2005 (30.06.2005), entire text; fig. 1 to 4 & US 2003/0233252 A1 & EP 1481357 A & WO 2003/077183 A2 & CA 2477690 A	1-3
A	JP 2005-524049 A (Bio-Rad Laboratories Inc.), 11 August 2005 (11.08.2005), entire text; fig. 1 to 34 & US 2003/0101012 A1 & EP 1428021 A & WO 2003/019184 A1 & CA 2456296 A	1-3
A	JP 2002-189803 A (System Communities Kabushiki Kaisha), 05 July 2002 (05.07.2002), entire text; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-3
A	JP 2002-092156 A (GE Medical Technology Services, Inc.), 29 March 2002 (29.03.2002), entire text; fig. 1 to 25 & US 6751630 B1 & DE 10135138 A1 & FR 2814832 A	1-3

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q50/00(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q50/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 0 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 0 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 0 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2007-299396 A（ゼネラル・エレクトリック・カンパニイ） 2007.11.15, 全文、第1-6図 & US 2004/0215981 A1 & GB 707816 D & DE 102007019375 A & CA 2585678 A	1-3
Y	JP 2008-507029 A（ベンタナ・メディカル・システムズ・インコー ポレーテッド）2008.03.06, 全文、第1-34図 & US 2005/0038676 A1 & EP 1779317 A & WO 2006/019392 A1 & CA 2573232 A & CN 101031934 A	1-3

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 2 . 1 0 . 2 0 1 0

国際調査報告の発送日

0 2 . 1 1 . 2 0 1 0

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

小林 正和

電話番号 03-3581-1101 内線 3562

5 L

4 1 7 2

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	WO 02/039341 A1 (三井情報開発株式会社) 2002. 05. 16, 全文, 第 1-12 図 & AU 9593801 A	3
A	JP 2007-535979 A (ベクトン・ディキンソン・アンド・カンパニー) 2007. 12. 13, 全文, 第 1-30 図 & US 2009/0048870 A1 & EP 1741034 A & WO 2005/111086 A2 & KR 10-2007-0009727 A & BRA PI0510361 & CN 101023416 A & CA 2564322 A	1-3
A	JP 2005-522768 A (ベクトン・ディキンソン・アンド・カンパニー) 2005. 07. 28, 全文, 第 1-29 図 & EP 1497780 A & WO 2003/087996 A2 & WO 2003/087996 B & CA 2481353 A & BR 309180 A & CN 1659562 A & ZA 200408189 A	1-3
A	JP 2005-519413 A (シーメンス メディカル ソリューションズ ヘルス サービスズ コーポレイション) 2005. 06. 30, 全文, 第 1-4 図 & US 2003/0233252 A1 & EP 1481357 A & WO 2003/077183 A2 & CA 2477690 A	1-3
A	JP 2005-524049 A (バイオーラッド ラボラトリーズ, インコーポレイティド) 2005. 08. 11, 全文, 第 1-34 図 & US 2003/0101012 A1 & EP 1428021 A & WO 2003/019184 A1 & CA 2456296 A	1-3
A	JP 2002-189803 A (システムコミュニティズ株式会社) 2002. 07. 05, 全文, 第 1-5 図 (ファミリーなし)	1-3
A	JP 2002-092156 A (ジーイー・メディカル・テクノロジー・サービスズ・インコーポレーテッド) 2002. 03. 29, 全文, 第 1-25 図 & US 6751630 B1 & DE 10135138 A1 & FR 2814832 A	1-3